

10/11 第一小 5 年生、昔の農機具体験

恒例の農機具体験の舞台裏を紹介します。・・・「1ヶ月前に刈り取った稲のうち、約100束をおだ掛けのまま残す。事前に富里市生涯学習課での農機具借用手続きも忘れずに。当日の朝、農家から軽トラックを借りて、保管庫から校庭まで農機具を慎重に搬入。100束の稲と器材の搬入でもう一往復。校庭の風向きを考えながら農機具をブルーシート上に配置。並行して稲わらを燃やして焼き芋の準備。後は子供達 25 人の登場待ち」です・・・

試みの「竹を使った抜き管(こきくだ)や抜き箸(こきはし)体験」は、予想外に好評。子供達の奮闘で、100束の稲から約20kgのモミが取れました。後日、籾摺り・精米をしてお届けすることを約束し、体験学習が無事終了しました。



▲脱穀機:3度目の脱穀で足の踏み込みが上手になりました!



▲木製の唐箕:体験前に風力を使った装置の原理や構造を説明



▲焼き芋の準備:稲わらをくべて芋を投入。焼き上がりが楽しみです!

年末までの行事予定表

月日	曜	行事内容	場所
10月28日	土	里やまオープンデー	天神谷津
10月29日	日	印旛沼流域環境・体験フェア	佐倉ふるさと広場向かい側
10月30日	月	生き物出前教室	末廣幼稚園
10月30日	月	生き物出前教室	若草児童館
11月1日	水	生き物出前教室	富里幼稚園
11月5日	日	富里PR動画撮影会	天神谷津
11月6日	月	木の実工作	富里幼稚園
11月12日	日	輝く創年とコミュニティーフォーラム	酒々井中央公民館
11月19日	日	日本と世界の大昆虫展(北中・富高発表会)11/18~19間	成田書道美術館
11月19日	日	リサイクルフェア	富里中央公園イベント広場
11月25日	土	福寿草山の草刈り&BBQ	大和地区
12月17日	日	木の実工作(立沢台子供会主催)	立沢台自治会館

会員紹介

築田 寧子さん、石谷 冽子さん



この度入会させて頂いた石谷冽子、築田寧子です。Facebookで活動内容を拝見していて、なかなか機会がなかったのですが、この度やっと入会させて頂きました。子ども達が自然の中で、生き物や植物と触れあえるところをずっと探していました。また、ホテルを自然の状態で見せたいと思っていました。これからは、ホテルが自然の状態で見られるにはどうすればいいのかを共に学ばせて頂き、お手伝いをさせて下さい。まだまだ里山で虫を追っかけて走り回っている事が多いですが、お手伝いを少しずつ覚えて里山を守っていけたら・・・と思っていますので、よろしくお願い致します。

※写真中央が築田さん、右端が石谷さん。
ご主人と二人の息子さんもイベントを楽しみにしているそうです。

NPO 富里のホテルは、谷津田などでホテルの発生を指標とした自然保護活動を行っています。

【連絡先】NPO 富里のホテル 事務局(岡本) ☎090-6016-8548
メールアドレス okamoton@themis.ocn.ne.jp

会員募集

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2,000円)

現在の会員数: 0203

NPO 富里のホテル

NPO法人 NPO富里のホテル 編集委員会 発行 2017.11.18 第41号

「絵本の読み聞かせと紙芝居」はじめました

保育園、幼稚園、学童クラブへ出向き、生きものや自然に関わる絵本の読み聞かせと紙芝居の上演を行います。今年の2月から、一部の幼稚園で試験的に行って来ましたが、4月から富里市補助金対象事業として本格的に活動を始めました。毎月1回を目安に不定期で、1回当たり30分から1時間程度で行い、身近な自然に対する興味の入口となる事を目指しています。



2017年実績

- 4/26 向台こども園
- 5/24 富里幼稚園
- 5/25 末廣幼稚園→若草児童館
- 5/26 向台こども園
- 6/27 末廣幼稚園
- 6/28 葉山こども園→向台こども園→若草児童館
- 6/30 富里幼稚園
- 9/25 末廣幼稚園
- 9/27 向台こども園→若草児童館
- 9/29 富里幼稚園→葉山こども園
- 10/18 向台こども園(子育て支援センター)

8/5 夏休み・小学生ボランティア体験で6人奮闘!

富里市は今年度「協働のまちづくり講座」として、社会貢献活動への関心を高めるため、市内の小学生を対象にした、ボランティア体験を企画。私達は市の要望に応じて里山保全活動を体験してもらうことに。参加した子供達は、竹のしがらみ(柵)による土留め造りや、竹の間伐、竹を使った花器づくりを体験。蒸し暑い中、やぶ蚊に悩まされての辛い体験だったかも知れませんが、ご褒美にと、竹飯盒で炊いたご飯でカレーライスを味わってもらいました。



里やまオープンデー始まる

毎週土曜日の作業日の内、毎月の第4土曜日を「里やまオープンデー」と定め、気軽に里やま体験ができる機会を設けることといたしました。里やま塾のようなイベントという形ではなく、「様々な作業体験」「谷津の散策」「里やま遊び」「生きものさがし」などを中心に私たちがこれまで経験してきたことを体験してもらうことが目的で、他にも自然の中での「青空紙芝居」「里やまのおやつ・ランチ等」も好評です。





5/20 第2回里やま塾「昔ながらの田植え体験」

さわやかな快晴に恵まれた里やま塾「昔ながらの田植え体験」。田んぼに入るのに最初は長靴を履いていた子どもたちも、少し時間がたてば田んぼに素足で入り、ご覧の通りの泥んこ姿！苗の手植えという慣れない作業も、足を取られながら一生懸命頑張ってくれたので、あっという間に田植えが終わりました。後半のサブイベントは、年に一度天神谷津に現れる赤鬼・青鬼との泥玉合戦！こどもたちは大興奮で運動会さながらの盛り上がりを見せました。



いっぱいどろんこになったよ！！



生き物出前教室 6月のダイジェスト

6月は里やまの生き物を連れて地元幼稚園や児童館へ出前教室です。5年目を迎える出前教室はすっかり定着し、黄色いベストを見ると園児達から「ホタル博士だ、こんにちは！」と声掛けが。今春から富里高校生物部員が放課後、児童館の出前教室を手伝ってくれています。継続のスイッチを押ししてくれるのは、園児達の愛くるしい笑顔です。



7/22 第3回里やま塾「ホタル観賞の夕べ」

夏の恒例行事となった「ホタル観賞の夕べ」が今年も開催されました。夕方から集まってホタルが見られる時間の前にサブイベントで竹灯籠作りを行い、各チームに分かれて熱心に取り組んでいただきました。(日が沈み、ろうそくが灯された竹灯籠を眺めるのは圧巻でした！)

夏野菜がたっぷりのカレーを食した後は、お待ちかねのホタル観賞！中高生たちガイドがホタル観賞をさらに実のあるものにしてくれ、参加者は目で見る印象・耳で聞く知識の二つからホタルを知ることができたのではないのでしょうか。



10/8 第4回里やま塾「昔ながらの稲刈り体験」

雨天の為、翌日へ延期となってしまった「昔ながらの稲刈り体験」ですが、急な予定変更にも関わらず、30名の参加者を迎えても賑やかな開催となりました。3回目の今年はスタッフも参加者も手際よく稲刈りが進みました。特に小学生の女の子が先頭に立って稲刈りを進めていたのには、みんながびっくり！

後半はサブイベント「秘密基地づくり」で盛り上がり、竹で枠組みされた所にワラで壁や屋根を作り、それを木の実やススキで飾り付け！各チームで協力して基地を作った後は、お弁当をもってその中で子どもたちだけの楽しいご飯♪どんな話で盛り上がったのかな？^^



富里第一小学校への学習支援

5年前から始めた学習支援は子供達にとって、自然に触れたり、米づくりの大変さを体感できる良い機会です。私達にとっては、子供達との触れ合いや、稲作を教わった地域の人々との関わりを持つことができ、とても有意義な活動となりました。これからも若い人達と一緒に活動の輪を広げて行ければと思っています。



▲秋の虫探し

▲どんぐりの弾でパチンコ遊び

【5年生の行事実績】

- 4/28 出前教室
「お米ができるまで」
- 5/2 代掻き体験

- 5/8 田植え体験
- 9/11 稲刈り体験
- 10/11 昔の農機具体験



▲コシヒカリの苗で田植え体験

▲稲刈りとおだ掛け体験

【3年生の行事実績】

- 6/6 自然観察会
- 7/13 生き物の出前教室
- 10/24 自然観察会と昔遊び

★天神谷津★ いのち 生命のにぎわい

エンマコオロギ(閻魔蟋蟀)



秋も終盤になると生き物たちの姿がめっきりと減ってきます。でも夕暮れになると晩秋を惜しむようにコオロギたちの鳴き声が聞こえます。エンマコオロギはその中でも最も身近で親しまれているコオロギです。鳴き声の美しさと共に有名なのがその名の由来。エンマコオロギと名付けられたのは顔が「閻魔大王」に似ているから。じっくりとその顔を見ると、似ているかな？閻魔様よりずっとかわいい顔のようにも見えます。日本のコオロギの中では最大種のエンマコオロギも10月後半にもなればめったに声を聴かなくなります。コオロギの鳴き声が止むころ、天神谷津も本格的な冬の季節を迎えます。